



私の
**なんとか
しなきゃ!**

Vol. 66

PROFILE

1991年群馬県出身。新潟大学教育学部卒業。「日本カワイイ博in新潟2012」の準グランプリをきっかけに、新潟ガールズ集団「Lily&Marry'S」に参加。地域活性化モデルとして活動を始める。昨年の「ミス・アースジャパン2015」ではグランプリを獲得。現在、したみちオフィス株式会社芸能事業部代表、「Lily&Marry'S」副代表などを務める。

大学時代を過ごした新潟で、私は今、地域活性化モデルとして活動しています。新潟には、優れた技術を持つ企業や、素晴らしい名所がたくさんありますが、十分に知られていないのが現状です。そこで、私が所属する新潟ガールズ集団「Lily&Marry'S」のメンバーが、その場所を訪問したり体験したりして、ブログやSNSで発信しています。

例えば、ある企業が開発したのが、持ち手をシリコン樹脂で覆い、つかみやすさを追求したごみ拾い用のトンク。この企業とコラボしたときには、私たちのオリジナルカラーのトンクを作っただけで、海岸を清掃しました。

こうした活動をより多くの人に知ってもらうためには、私自身の発信力を高めなければ——。そう考えて、昨年、世界的なミスコンテスト「ミス・アース」に出場しました。大会のコンセプトは、環境問題に対して意識の高い女性を育てること。幼いころから自然に親しみ、この仕事を始めるまでは理科の先生を志していた私。思いは人一倍強い自信が

つながる、そして発信する

ミス・アースジャパン2015、地域活性化モデル

山田 彩乃

YAMADA Ayano



ありました。正直、緊張であまり覚えていないのですが、最後のスピーチではその熱意を伝えた結果、日本代表の座をつかむことができました。

その後、3週間にわたりオーストリアで開かれた世界大会では、毎日が刺激的でした。80カ国以上から集まった出場者は、みんな私と同世代なのに、環境問題はもちろん、世界の出来事や政治に対する意識がとにかく高いのです。各国の環境問題について考えるワークショップに参加した経験は、日本との違いを知る機会となりましたし、何か私にもできる形で世界の問題に関わってきたいという気持ちが、ふつと芽生えました。

今は、シリア難民やパリ同時多発テロなど、世界で問題となっている出来事の背景を調べることから始めています。今年1月には、新潟県内の大学に声を掛けていただき、ドイツ国際平和村で理科の楽しさを伝えるプロジェクトにも参加しました。つらい境遇なのに自然と助け合う子どもたちを見て、胸が熱く

なりました。昨年、豪雨被害を受けた茨城県常総市で支援活動を行った際、ある住民の方が「もっと現状を知ってほしい」と話していました。私にできるのは、人とつながり、自分が見た、感じたものを「発信」すること。それは日本でも世界でも同じだと感じました。

もちろん、地域活性化の活動にも、ますます力を入れるつもりです。ミス・アース出場をきっかけに、出身地の群馬でも仕事の機会が増え、群馬に同じようなチームを作りたいと熱望する女性とも知り合いました。早速、その実現に向けて動き出していて、今からワクワクしています。これからも人とのつながりを大切に、新潟、群馬、そして日本の良さを発信していきます。

「なんとかしなきゃ!プロジェクト」は、開発途上国の現状について知り、一人一人ができる国際協力を推進していく市民参加型プロジェクトです。ウェブサイトやFacebookの専用ページを通じて、さまざまな国際協力の情報を発信していきます。

なんとかしなきゃ で 検索